

第 1 検討部会 会議録

会議の名称	第 1 回 第 1 検討部会
開催日時	平成 19 年 7 月 31 日（火）午後 8 時 4 分から午後 8 時 56 分
開催場所	川口市職員会館 3 階会議室
出席者	（部会長）金井副委員長 （委員）池田委員、砂沢委員、落合委員、金子委員、神尾委員、 佐藤（一）委員、中村委員、林委員
会議内容	・自己紹介 ・自治基本条例への期待
会議資料	・会議運営のころざし ・第 1 部会運営に関するたたき台
発言内容	■自治基本条例への期待 ・今まで行政に任せていたことが多かったが、今はそれではやりきれないと思う。市民が自分たちでできることを川口の歴史や独自性を勉強しながらルールづくりをしていきたい。 ・自治基本条例は二セコ等でできていて少しブームになっていると聞く。二セコでは自治体の憲法みたいな位置付けだが、他のところでは環境条例のように一部に特化したものもある。 ・歴史を見たうえで川口に残すものを考えてみたい。先生の話聞いて過去の行政の蓄積を見ることは、確かに必要だなと思った。 ・公募市民の方といっしょのテーブルについて検討するのは今回初めて。川口はこういうまちで、次の世代にこういうものを残したいというものを検討したい。 ・ボランティアをするなかでは、市だけでなく、埼玉県や国といっしょに活動することもある。市民が行政とどのように協働していけばよいのか、先人の知恵から学びながら、川口らしいものを考えていきたい。 ・今の川口は都内に勤める人が多く、数年でかなりの人が入れ替わるという。川口の強みを打ち出す必要があるのではと思い、それを考えたいので参加した。 ・選挙で応援しても、当選した後は何もやってくれないこともある。何か市政に関わりたいと思い、参加した。 ・公募委員を入れることについて画期的だと思った。どれほど多くの市民といっしょに条例をつくっていくかが大事だと思う。100 名の委員でやっている自治体もあると聞く。策定委員会の様子を見ていて、いいところに参加できたなと思った。心わくわくしている。 ・1 回目の委員会も今日のように初めに講演会を開催すればよかったのでは、と思う。また、この部会ではしっかり勉強をしていかないといけない

	いと思った。 ・参加したのは、出会いと刺激を求めてという気持ちから。議論の仕方を学びたいと思った。親戚に市長をしている人もいて、地方議員を比較的身近に感じてきた。今まではパンフレットを読むだけだったが、議員と同じ席で話できるなんてすごいことだと思った。自分が川口に何か残せるということが動機になった。 ■今後の部会の進め方 ・部会では何も勉強しない状態で発言し合うのは避けたい。歴史を振り返ったり、居住経験がある人には川口をどう見てきたのか聞いたりしたい。今後の運営の方法は次回に皆さんからアイデアを寄せてほしい。 ・次回はとっかかりとして、戦後の川口市政の概要、歴代市長ってどんな人だったのといったことを議論したい。 ・会議録署名人は、部会長とそれ以外に2人ずつ、部会員の名前を五十音順にして上から順番に担当することとする。
次回以降日程	・次回は8月23日(木)午後6時から、 - 次々回は8月30日(木)午後6時から。